



夢への飛躍

金沢桜丘高校いしかわニュースーパーハイスクールだより



令和元年度 第7号

編集：NSH推進課

発行責任者：前田一弘

2年生人文科学および自然科学コースは、春からさまざまな学習や探究活動に取り組んで来ました。活動の仕上げの時期に差し掛かった12月、それぞれ発表や課外授業で忙しく充実した日々を過ごしました。

石川県SSH生徒研究発表会

自然科学コース

12月10日(火)、石川県地場産業振興センターにて「石川県スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会」が行われ、本校の2年自然科学コースが参加しました。

当日はSSH指定校(小松・七尾・金沢泉丘高校)の研究発表会を見学したほか、本校はポスターセッションで全6班が研究の成果を発表しました。

当日は1年の自然コース進級予定者も来場し、高度な研究内容や高い発表技術に触れ、次年度へやる気を高めました。



課題研究 中間発表会

人文科学コース



人文科学コースでは、12月12日(木)、本校大講義室にて課題研究の中間発表を行いました。班ごとに社会や言語の分野から研究テーマを選び、6月から研究を進めてきました。中間発表では大型ポスターを作成し、話し手・聞き手を交代しながら発表会を進めました。当日は1年の人文コース進級予定者も見学し、積極的に質問する姿が見られました。

今後、質問された内容や担当教諭の指導を踏まえて、1月のNSH発表会に臨みます。なお学校代表の班はスライドでの代表発表を行います。

西田幾多郎記念哲学館 訪問

人文科学コース

人文科学コースでは学校設定科目として「知の探究」を学んでいます。12月13日(金)には本科目の課外授業の一環として、かほく市の西田幾多郎記念哲学館を訪れました。

同館研究員の中嶋優太氏による西田幾多郎と哲学についての講義を受けたあと、グループに分かれて館内を見学しました。講義はとてもわかりやすい内容で、「哲学すること」の面白さに気がついた生徒もいたようです。また、館内の見学でも安藤忠雄氏の設計した館内や哲学に関する展示物を興味深そうに見る姿が印象的でした。今回得た新しい視点を、今後いろいろな場面で活かして欲しいと思います。

